

花のある空間

大高 令子

※ 今月の花材 ※

茶色の花……ヒマワリ(プロカットレッド)

ススキのような植物……パニカム

猫じゃらしのような植物……ペニセタム

グリーンの葉と実……野ブドウ

夏の疲れを癒す 落ち着きの配色

暑かった夏もそろそろ峠を越え、時折、涼しい風が吹きわたるようになりました。山々が色づく秋を迎える前に、こころと体をクールダウンさせたいところです。

そこで今回は、落ち着いた色の素材を集めて、癒しのアレンジを考えてみました。

秋になると穂をつけるイネ科の総称を、フランスでは「グラミネ」と言います。このグラミネは、人気のシャンベトルな(田園風の、田舎風の)アレンジによく使われます。

今回使うグラミネは、ススキのような「パニカム」と、猫じゃらしのような「ペニセタム」です。

これらのグラミネと落ち着いた色のヒマワリを合わせて、



うっすらと色のついたガラス器にシンプルに飾りました。

まず、主役となるヒマワリは、葉を落としてスッキリさせます。

線の細いパニカムは長めに、面の大きなヒマワリは低めになど、高低差をつけて配置するとメリハリがつけます。

花が平面的に広いヒマワリは、花の顔をあちこち向けることで動きや奥行きが生まれます。

なお、ヒマワリは茎に産毛のような細かい毛が生えていて、この産毛が水を汚して、茎そのものが腐ってしまうことがあります。

なので、浅水で十分です。

バイ菌の増殖を防ぐために、薄めた漂白剤を入れてもよいでしょう。暑い季節は、こまめな水替えが効果的です。●